

# P3;TRIO AFTER



テレビで巖戸台分寮の  
当時●歳の月光学園の生徒達が  
謎の失踪から10年という特集で  
司会者が失踪者の名前を  
次々と挙げる中  
私の名前「岳羽ゆかり」を  
呼ぶ事はありませんでした

それは私を拉致した男性が  
政治界に顔を利用させる資産家で  
報道・●察等を買収した為です  
そこまでの目的は  
私に自分の子供を  
「産ませる」ことでした

For Adult Only

最初は抵抗したものの  
卓越したテクと絶倫チンポの  
昼夜を問わない調教の前に  
成すすべなく繁殖性奴隷へと  
堕ちて行きました

それから当然のよう  
毎年妊娠と出産をする  
日々を送っています

「あはあ」  
おはようございますおじ様  
今日はいつも以上に  
グツスリ寝てましたね」

「昨日はチンポを抜かずに  
8回連続でしちゃった  
からかな？」

「なに言ってるんですか  
いつもはもっとシテるじゃ  
ないですか」

「はあはあ  
チンポ舐めてたら  
オマンコが濡れて  
きちゃいました」

「んはあチンカリから  
昨日の精子の味が  
するのよ」

ゆかりはマンコを男に  
押し付けるように  
シツクスサインへと  
体勢を変えていく

毎日行われている繁殖行為により  
ピンク色だった色素は黒紫に変色し  
綺麗に整っていた肉ヒダも  
ピラピラになっている

「ピラついたオマンコが  
パクついてるなー」

「いぢやないか  
パンツからはみ出る位  
肉きのはそっか」

「おじ様が望むようでしたら  
ゆかりは構わないです」

「ゆかりちゃんはいいい子だね  
ほーら」褒美だよ」

「あああん！  
ヒダがまたのびちゃいますから  
あまり引っ張らないで下さい」

「ひゅぱい口の中に  
はいひゅいひゅくー！」

「もーダメじゃないですか  
こんなにいっぱい出したら  
妊娠する確立が減っちゃいますっ」

口から溢れ出た精液を  
指ですくい舐め終えると  
濡れたマン肉を押し広げた  
愛液でてらてらと光る  
黒オマンコが男を誘う

「おじ様の精子の数が  
減る前にゆかりの子宮に  
出して下さい」

「なにより今日は  
排卵日で妊娠に  
一番いい日  
なんですからよ」

「そうかそうか  
妊娠日和だったか  
なら確実に孕ませて  
あげないとな」



「あひいん！  
バキバキのチンポ  
きてるう！」

腰をぐっと掴み  
子宮口まで一気に  
チンポをねじ込ませた

「挿れられただけで  
いっちゃいそうですう！」

「はっはっは  
相変わらず敏感で  
よく絞まるオマンコだね」

「あッあッ！  
ぶっぶっで長くて  
素敵いな！」

「おじ様のチンポ  
最高ですうっ！  
コレがないと生きて  
いけないのおお！」

ピストン運動は更に  
激しさを増しベッドが  
ギシギシときしむ

「あひいん！そこお！  
そこを突かれちゃうと  
頭の中が真っ白になっちゃうう！」



腰の動き・嬌声・分泌液  
人と獣を遙かに凌駕した  
交尾が繰り広げられていく  
それらが最高潮に達した時  
獣のような咆哮と共に  
ようやく終わりを迎える

「気持ち良すぎて  
腰の感覚が飛び始めてるっ！」

「双子を孕んじやうのような  
濃い精子をお願いしますっ！」

「気持ちいい……」

フズッ

フズッ

フズッ

ド

ド

ド

ド

「だめええ！

いっちゃう！いっちゃうのお！

おじ様も一緒っ！」

フ

ボ

ッ

勢いよく射精した精子は  
卵子と結合し受精する事になる  
また毎年の目標が無事  
達成された瞬間でもあった

「数カ月後」

「おじ様遅いですよ！  
子供達をメイドさんに預けて  
二人だけの夜なのに」

「ごめんごめん」

ゆかりの腹は  
誰が見ても妊娠していると  
分かるほど腹が膨らんでいた

腹の中にいるのは  
もちろんゆかりの目の前にいる  
男の子で今回の妊娠で  
13人目となり  
男4人女9人の母となる

「遅れた罰として  
今日は寝かせませんから  
覚悟して下さいね」

小悪魔的な笑みを  
浮かべながらポテ腹を  
男に押し付ける

「ふふっこれからする事に  
赤ちゃんが期待して  
お腹を蹴ってるの分かります？」

「もちろん分かるさ  
この子もゆかりちゃんに似た  
淫乱で可愛い女の子に  
なるんだろうね」

「ふあうう  
そうなりますよ  
まじで」

「おまんこが  
オマンコがかき  
回されてるのお」

「ちよつと触っただけで  
もうヌルヌルじゃないか」

「おじ様が私の  
弱い所知り尽くしてるから  
ですよーもおー」

ムキになったゆかりは  
その手からするりと逃れ  
男のペニスを口に頬張った

「弱い所を知ってるのは  
おじ様だけじゃないですよ」

長年しゅぶり続け  
磨き上げた舌使いはものの数秒で  
射精万端の剛直ペニスへと変える

「おちんちんがイキたそうに  
フルフルしてますけど  
最初の一発はゆかりの腔中で  
イッて下さいね」





言葉とは裏腹に  
ペニスをしゃぶっていて  
我慢しきれなくなり  
男をベツトに押し倒す

「少しは落ち着いたらどうだい？  
妊娠盛りの子じゃあるまいし」

男の上にまたがり  
ゆつくりと腰を沈ませ  
男をくわえ込んで行く

「ゆかりちゃんが  
可愛いからつい意地悪したく  
なるんだよ」

「ふう  
分かってますよ  
そんなおじ様が私は  
大好きです」

に  
す  
ち  
や

じ  
い

は  
あ  
は  
あ

は  
あ

ぐ  
ぐ

ぢ  
ぢ  
ぶ

ぢ  
ぢ  
ぶ

フ  
ツ  
リ  
ム  
ツ

「欲しくてしょうがないのを  
知ってるくせにわざと  
そう言うんですから  
ほんと意地悪です」

「ふあああッ！  
一番奥まで入ったのお！」

出し入れの際に二人の  
腹は音を出しぶつかり合い  
また局部からも同じように  
乾いた音で共鳴し合っている

「ババチンポ  
すてきー！」

「はぁんッ！  
チンポ気持良すぎて  
ミルクが飛び散っているー！」

カッパ

カッパ

ドゥ  
ドゥ

ドゥ  
ドゥ

「うんっんっんっん  
部屋中を甘い匂いで  
満たさっつが」

その言いつゝ母乳を  
撒き散らす乳房を  
両手で驚掴みにする

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ズ  
ズ  
ズ

ぞん

ぢゅ

「あああん！  
噴水みたいに  
勢いよくミルクが  
出ちゃっているうー！」

「うあーひくうー！」

オマンコもマシン汁が  
たくさん噴き出てるうー！」

「体中の分泌液の  
排出が止まらないのお！」

じゅ

ぢゅ

ぢゅ

ぢゅ

ぢゅ

「んちゅー！ゆかりちゃんの  
ミルクはホント美味しいよ」

毎年妊娠している体は  
より効率よく母乳を作るようになり  
また味も成分も洗練された  
母乳となっていた

「あだためだめ！  
気持ちよすぎて  
いつちやうううー！」

「ふあうー！乳首  
吸われてるううー！」

ちゅー  
ぽー

ちゅー  
ぽー

ちゅー  
ぽー

いーい

「初めて妊娠して  
母乳を飲んだ時の  
薄味が嘘のようだね」

ズ  
チ  
コ

「お願いおじ様あ！  
一緒にいー！一緒にいー！」

ぽん  
ぽん

終わりが近づき  
乾いた音が  
より一層早くなり  
ベットが軋む

グ  
チ  
コ  
グ  
チ  
コ

「よーし！  
パパミルクを  
受け取れ！」

ニ  
コ  
グ

グ  
チ  
コ  
グ

「ボテ腹がもつと膨れていくのおおお！んひひひひひ！」



「あついのおおおー！」「ふふふふふふん！」

その後も繁殖行為は続けられた  
もし終わりがあるとすれば  
男の精子が無精子になるか  
ゆかりの排卵が止まる  
その時まで。。。。



二人に終わりは無い

# あ と が き

突発本を勢いで作ったよーな皆様の

えっ？あとがきがなんだか読みづら  
あとがきなんてどうせ誰も読まない  
…ごめんなさい調子にのりました。  
とまあこの本はコミック1☆5で  
プラスαとして再編集した。SL  
P3が映画化と聞いて嬉しくてつい  
に嬉しかったのが今までやれなか  
うやくシリーズを完結できそうです。  
終わらせたいと思って

それではまたお会い  
ではでは～

だらぶちでございます！

いって？  
だろうから別にいいじゃない！

オマケ本として配布させて頂いた物に  
AVEの後日談的な話となっております。  
描いてしまったんやー。だけどそれ以上  
ったP3；TRIOの話を描ける機会ができて  
ラストはハム子の話+今までの話を収録し  
いますのでその時はよろしくです！

しましろう～



P3;TRIO AFTER  
SLAVE ver1.5  
END

～奥付～

発行人：だらぶち堂  
だらぶち

印刷所：ねこのしっぽ 様

E-mail: darabuch@qj9.so-net.ne.jp

U R L : <http://darabuchi.iinaa.net/>

18歳未満は閲覧購入禁止